

自助…自らの命は自ら守る！

地震の大きさを示すものとして一般的に「震度」と「マグニチュード」という2つの尺度が使われています。

震度とは：ある場所での「揺れの大きさ」を表す指標

震度階級は日本独自のものです。

震 度	人の感じ方
震度 0	地震だけど体感できない
震度 1	座っているとかすかに感じる人もいる。
震度 2	大半の人が気付くレベル
震度 3	動いてなければ、ほぼほぼ気が付く
震度 4	電灯などの吊り下げ物が大きく揺れる
震度 5 弱	固定されてない家具が動く。本棚の本が落ちる。
震度 5 強	捕まらないと歩けない。ブロック塀が崩れることも。
震度 6 弱	立ってられない。ガラスが割れることも。
震度 6 強	這わないと動けない。木造建築だと倒れることも。
震度 7	激揺れ。コンクリートの建物でも倒れることも。

マグニチュードとは：「地震の規模」を表す指標

マグニチュードは－2 から 12 まであり、マグニチュードが1 大きくなるとエネルギーは 32 倍大きくなります。海外の地震では「マグニチュード」で表されることがほとんどです。

マグニチュード (M)	地震の規模	事 例
～M1未満	極微小地震	物が地面に落ちた時の振動レベル
M1以上～M3未満	微小地震	大きな爆発があったレベル
M3以上～M 5 未満	小地震	震源が地表面なら体感できるレベル
M5以上～M 7 未満	中地震	はっきり揺れが分かるレベル
M7以上～	大地震	かなりでかい。地表付近なら震度 6 か 7
M8以上～	巨大地震	関東大震災レベル

地震はいつ起こるか誰にも分かりません。日頃から災害に対する備えをしておきましょう！

次回は、土砂災害警戒区域についてお知らせいたします。